

# 学長及び教員の個人調書（記入例）

様式第4号（その1）

記入例 1 / 4

履 歴 書			
フリガナ 氏 名	サトウ タロウ 佐 藤 太 郎 〔外国人の場合「姓・名・ミドルネーム」の順に記入〕	(男)・女	写 真
生年月日 (年齢)	平成〇〇年〇〇月〇〇日生 (満〇〇才) 〔令和 年4月1日現在の満年齢〕		
現住所	〒603-〇〇〇〇 京都市北区上賀茂〇〇町1-12 TEL (075) - (000) - (000) 携帯電話 (090) - (0000) - (0000) E-mail ( )		
学 歴			
年 月	事 項		
昭和〇〇年3月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年3月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年3月 昭和〇〇年3月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇学専攻入学 同 修了 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇学専攻進学 同 修了 (又は) 同 単位取得満期退学 〇〇博士 (〇〇大学) (又は) 博士 (〇〇学) (〇〇大学)	〔旧制高校, 旧専門学校の学歴は記入して下さい。〕 〔称号等は記入して下さい。〕 〔学位番号は記入不要です。〕	
職 歴			
年 月	事 項		
昭和〇〇年4月 昭和〇〇年3月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 平成〇〇年1月 平成〇〇年4月 平成〇〇年1月 平成〇〇年4月 平成〇〇年4月	〇〇株式会社入社 同 退職 〇〇大学〇〇学部 (〇〇研究所) 助手 (昭和〇〇年〇月まで) 〇〇大学〇〇学部非常勤講師 (平成〇〇年〇月まで) 〇〇大学〇〇学部講師 (昭和〇〇年〇月まで) 〇〇大学〇〇学部助教授 (平成〇〇年〇月まで) 文部科学省教員組織審査において, 京都産業大学〇〇学部〇〇学科教授 (〇〇学, 〇〇論) として認定 〇〇大学〇〇学部教授 (〇〇〇〇担当) (現在に至る) 文部科学省教員組織審査において, …D◎教授…認定 〇〇大学大学院〇〇研究科D◎教授 (〇〇〇特別研究担当) (現在に至る) 〇〇大学学生部長 (平成〇〇年3月まで)	〔現在の主要担当科目を記入して下さい。〕 〔現職には必ず付記して下さい。〕	

学会及び社会における活動等								
年 月	事 項							
昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月	〇〇学会会員 日本〇〇学会会員 〇〇学会幹事（平成〇年3月まで） 〇〇学会〇〇委員 〇〇学会会員  <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">[加入年月順に記入して下さい。]</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">[現在加入のすべての学会の加入年月、学会名（フルネーム）を記入して下さい。]</div>							
賞 罰								
年 月	賞 罰							
平成〇〇年〇月	〇〇学会〇〇賞（論文名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇）  <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">[過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入して下さい。]</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">[賞罰がない場合は、「なし」と記入して下さい。]</div>							
職 務 の 状 況								
勤 務 先	職 名	学 部 ， 学 科 等 (所属部局) の名称	担 当 授 業 科 目 名	毎 週 担 当 授 業 時 間 数				備 考
				専任	兼担	兼任	計	
京都産業大学	教 授	工学部生物工学科	〇〇〇〇概論	2			2	※複数でご担当の科目
〃	〃	〃	〇〇〇〇〇実験	2			2	についての時間数の記
〃	〃	〃	〇〇〇〇〇	2			2	入方法は、「個人調書等
〃	〃	工学研究科〇〇専攻	〇〇〇〇〇特論	4			4	記載要領の(別紙)」を
〃	〃	理学部物理学科	〇〇〇〇〇		2		2	ご参照下さい。
〇〇工業大学	講 師	理工学部物理学科	〇〇〇〇〇			2	2	
上記のとおり相違ありません。								
令和      年      月      日								
氏 名      佐 藤 太 郎      印								

教育研究業績書		
令和 年 月 日		
氏名 佐藤太郎 (印)		
教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等		
2. 作成した教科書、教材 ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要(後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表示)		
3. 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容) ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価 ・学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの ・上記以外で、学長、学部長、諸機関等が行った評価(客観性を持ったものについて記載)等		
4. その他 ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要 ・教育実績に対する受賞歴等		
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業、官公庁等の研究者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要</li> <li>・取得した特許等の概要</li> <li>・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割</li> </ul> </li> <li>○その他、企業・団体等関係者                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績</li> </ul> </li> <li>○情報技術者関係の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューターに係る職務歴(職務上のコンピューター活用法、ソフト・システム開発歴)</li> </ul> </li> <li>○マスコミ関係者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆した記事の概要</li> <li>・作成した番組の概要</li> </ul> </li> <li>○法曹関係者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係した訴訟等での活動や判決の概要</li> </ul> </li> <li>○医師や看護師等医療技術者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例研究会での発表等の活動</li> </ul> </li> <li>○福祉その他社会活動の関係者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位</li> </ul> </li> <li>○スポーツ等実技関係者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者としての経歴・実績・資格</li> </ul> </li> <li>○芸術関係者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の概要</li> </ul> </li> <li>○博物館、美術館等関係者の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当した展覧会の概要</li> <li>・執筆・監修した展覧会図録の概要</li> </ul> </li> <li>○その他全般を通じて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等)</li> <li>・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要</li> </ul> </li> </ul>		

